



発掘された器の美

（市内出土品コレクション）

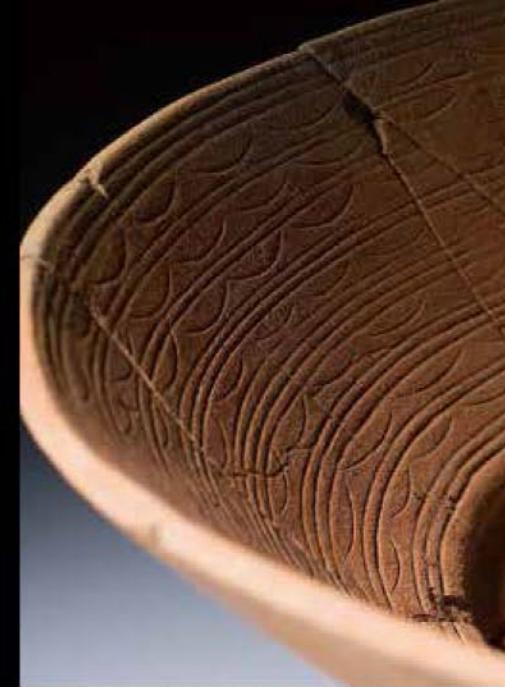
うつわ



甑（こしき）：下に設置した器でお湯を沸かし、底面の穴から上がる蒸気で食物を蒸すために用いた器。6世紀（徳永）



有孔鋸付土器（ゆうこうつけつきどき）：躍動する人体文様が目を引く、世界的にも著名な土器。国の重要文化財。酒造に用いられたとも言われる。約5000年前（下市之瀬）



高坏（たかつき）：弧状に連なる文様が繊細で美しい。4世紀（寺部）



須恵器の壺（すえきのかめ）：焼成中に壺の中で歪んでしまった不良品だが、なかなか味わいのある造形を見せる。周辺からは、同様の出荷できない不良品が多く見つかっており、近隣に窯があったことを暗示する。10世紀（野牛島）



壺（はそう）：古墳での儀式に使われた土器。現在の大阪府で造られ、わざわざ運ばれた。5世紀（寺部）



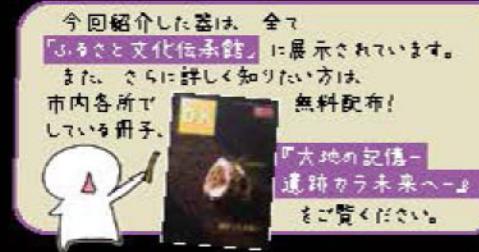
水煙文土器（すいえんもんどき）：水煙が上がるような圧倒的な躍动感。約4500年前（曲輪田）



天目茶碗（てんもくちゃわん）：抹茶を飲むための器。愛知県の瀬戸で焼かれたもの。16世紀（古市場）



高坏（たかつき）：儀式に用いられた器。5世紀（船沢）



長颈壺（ちょうけいいこ）：静岡県の猿投山で焼かれた。素灰の釉が素朴で美しい。10世紀（十日市場）

**南アルプス市
ふるさと〇〇博物館**

Furusato Maru-Maru Museum

こんな めっけたけんど どうで！

ふるさと〇〇博物館 地域のお宝発見報告会＆まちあるき（八田地区）開催！！

平成30年秋の「ふるさと〇〇博物館（ふるさとまるまるはくぶつかん）」オープンへ向け、市では地域の歴史資源の掘り起こし調査をはじめています。今回は、みなさんに市のすめる「ふるさと〇〇博物館」事業とは何かを知っていただくとともに、八田地区を舞台に、今回新たに見つかった地域の「お宝」を紹介し、さらには実際に複数地区を歩いて、何気ない風景の中に隠された新たな「物語」を探しに行きたいと思います。

時間：9時～12時30分ごろ 場所：高度農業情報センター（ふれあい情報館）※ホールでの報告会の後、10時過ぎを自安に複数地区のまちあるきに出発します。

申し込み／問い合わせ：TEL 055-282-7408（ふるさと文化伝承館）